

## 推移とVR構文の捉え方

秋山 淳

### 要約

本稿は、中国語の動詞＋結果補語の構文(以下VR構文)は(i)NP＋了, (ii)AP＋了, (iii)VP＋了が共通に持つ「推移(変化)」という概念を引き継いでいるだけで、VR構文がどのような意味を表しているのかは、VやR自体が表す意味、VR構文に現れる主語や目的語のNPなども関係していること、即ち、中国語母語話者の知識(百科事典的知識または理想化認知モデル:ICM)が影響していることを考察するものである。

### 1. 問題の所在

“John hit the metal flat”という英語の結果構文は、村尾(2006)によれば、X causes Y to become Zという使役構造を持つモデルを反映しているということである。一方、中国語の結果構文(以下VR構文とする)では、たとえば(a)“武松打死了老虎”「武松が虎を殴り殺した」、のように、主語の“武松”の動作行為が、目的語の“老虎”の状態変化を引き起こす、使役的な意味を表すもの、(b)“你看完这本杂志了吗?”「この雑誌を読み終えましたか。」のように、“完”「終わる/終える」が“看”「読む」の動作の完了というアスペクトを表すもの、(c)“他喝醉了”「彼は(飲んで)酔った」のように、主語の状態変化を表すものがあり、使役的な意味を表しているものだけではない。

そこで、本稿では、中国語のVR構文は(i)NP＋了, (ii)AP＋了, (iii)VP＋了が共通に持つ「推移(変化)」という概念を引き継いでいるだけで、VR構文がどのような意味を表すのかは、VやR自体が表す意味、VR構文に現れる主語や目的語のNPなども関係していること、即ち、中国語母語話者の知識(百科事典的知識)もしくは捉え方(ICM)が影響していることを考察するものである。

### 2. NP＋了

王会琴(2009)によれば、“NP＋了”に現れるNPは、「順序」や「推移」の意味特徴を持っているという。たとえば：

(1) 已经星期五了, 明天可以休息了。「もう金曜日だ、明日は休めるよ」<sup>1)</sup>

(1)の“星期五”「金曜日」は時間NPであり、“了”を付加することで、発話時点で“星期四”「木曜日」またはそれ以前から“星期五”「金曜日」へ時間が推移したことを表している。このように、“NP＋了”に現れて、「推移」を表すことができるNPの種類について、王会琴(2009)は次の四種類を指摘している：

(2) 時間NP：春天/夏天/秋天/冬天, 一月/二月/三月…

(3) 場所NP：北京/上海/成都/天津/台北/北海/故宫…

(4) 職名等の NP：小学生 / 中学生 / 高中生 / 大学生， 講師 / 副教授 / 教授…

(5) 関係を表す NP：邻居 / 夫妻 / 朋友…

次節から，王会琴（2009）が指摘し，考察しているこの四種類の NP が現れる個々の “NP + 了” について，見ていくことにする。

## 2.1. 時間 NP

時間 NP は “春天，夏天…” や “一月，二月…” などの季節や月日を表す NP などである。たとえば：

(6) 外面好冷，春天了，夜里还是很凉。「外はまだ寒い，春になっているというのに，夜はまだ寒い」（百合 这样一种关系）

(7) 她想倒在床上休息一会儿，但是十一月了，屋里没有火炉是寒冷的，加上她身上只穿着一件毛衣，又没有吃饭，就更加感到了冷不可耐。「彼女はベッドでしばらく休みたかったが，十一月になっているので，…」（杨沫 青春之歌）

この (6)，(7) に現れる “春天” や “十一月” などの時間 NP は次のような時間の推移が想定される：

(a) 星期天 / 日 → 星期一 → 星期二 → 星期三 → 星期四 → 星期五 → 星期六 → 星期天 / 日…

(b) 一月 → 二月 → 三月 → 四月 → 五月 → 六月 → 七月 → 八月 → 九月 → 十月 → 十一月 → 十二月 → 一月…

(a) や (b) に示されるように，時間 NP は既に時間の推移を持っていると理解され，“了” を付加することで，時間の推移を言語化すると考えられる（邢福义 1984，马庆株 1997）。<sup>2)</sup>

(6)' 春天了<sup>3)</sup>                      (7)' 十一月了

冬天 | 春天                      十月 | 十一月

→                                      →

推移                                      推移

(6) の “春天”，(7) の “十一月” は推移後の時間 NP を言語化している。順序を持つ時間 NP を順序から切り離し，単独のモノとして表す場合には，“了” は付加されない：

(8) 姚宓说：“呀，许先生，今天星期日，图书室不开门的。阅览室要下午开呢。”

「『許さん，今日は日曜日だから，図書室は開かないわ。阅览室は午後を開くわよ』と姚宓はいった」（杨绛 洗澡）

(9) 螺蛳太太沉吟着说：“今天八月廿八，这个月小建，后天就交九月了。三小姐的喜事只得两个月的工夫，我亦真正是所谓归心如箭。”「『今日は 8 月 28 日，今月は小月，明後日は…』と螺蛳奥様は深く考えながら言った」（高阳 红顶商人胡雪岩）

順序を持つ “春天” や “十一月” などは “了” を付加して時間推移を具現化するが，(8) や (9) のように，順序から切り離し，モノとして表現する場合には，“了” は付加されない。

## 2.2. 段階を表す NP

段階を表す NP とは、たとえば、“小学生、中学生、高中生…” など、我々の知識として、段階を持つと考えられる NP である。

(10) 都大学生了，还像个小孩子一样不懂事。「もう大学生になったのに、まだ子供みたいに物わかりが悪いのね」<sup>4)</sup>

(11) 现在，我的同学多半都研究生了。「今、私の同級生は殆どがもう大学院生になっている」<sup>5)</sup>

通常、我々の知識として、小学生から中学生、中学生から高校生、人によっては高校生から大学生、また、大学生から大学院生という段階を経ることを知っている。その段階を図示すると (12) のようになる：

(12) 小学生→中学生→高中生→大学生→研究生…

たとえば、(10) の“大学生了”「大学生になった」や (11) の“研究生了”「大学院生になった」という表現の表す意味は (10)’ や (11)’ のように表すことができると考えられる：

(10)’ 大学生了                      (11)’ 研究生了

高中生 | 大学生

大学生 | 研究生

(你) →

我的同学 →

推移

推移

(10) の“大学生了”，(11) の“研究生了”は (6) の“春天了”や (7) の“十一月了”と同じく、推移後の（文に現れたり現れなかったりする）主語の身分等を言語化していると考えられる。

## 2.3. 関係を表す NP

関係を表す NP には“邻居，夫妻，朋友”などがある。

(13) 你们已经邻居了，你还不认识他？「既にお隣さんになったのに、まだ彼を知らないのですか？」<sup>6)</sup>

(14) 他们都夫妻了，你们还不了解？「もう夫婦なのに、まだわからないのですか？」<sup>7)</sup>

(13) の“邻居”「お隣さん」も「“邻居”でない関係から“邻居”である関係へ」の推移があり，(14) の“夫妻”「夫婦」も「“夫妻”でない関係から，“夫妻”である関係へ」の推移があると考えることができる。それを図示すると：

(13)’ (已经) 邻居了                      (14)’ (都) 夫妻了

邻居 → | 邻居

夫妻 → | 夫妻

你们 →

他们 →

推移

推移

ようになる。(13) の“邻居了”や (14) の“夫妻了”も (6) の“春天了”や (7) の“十一月了”，(10) の“大学生了”や (11) の“研究生了”と同様に推移後の関係を言語化していると考えられる。

## 2.4. 場所 NP

一般に“北京”，“上海”，“天津”などの場所 NP は，時間 NP，段階を表す NP，関係を表す NP とは異なり，時間推移を含んでいると考えることはできない。けれども，移動を表していると話し手が解釈できる時には，場所名詞に“了”を付加して，空間推移を読み取ることができる：

(15) 都天津了，就快北京了。「もう天津ですので，まもなく北京です」<sup>7)</sup>

(16) 现在都北海了，马上故宫了，过了美术馆就王府井了。「今既に北海です，すぐに故宫です，美術館を過ぎたら王府井です」<sup>8)</sup>

(15) の“快北京了”や“就王府井了”の表現が表す意味は以下のように図示できると考えられる：

(15)′ 快北京了	(16)′ 就王府井了
天津   北京	故宫   王府井
→	→
移動 (推移)	移動 (推移)

場所 NP の“北京”や“王府井”は別な場所からの移動先であると解釈できる時には (15) や (16) に現れるように“了”を付加することで，空間推移を表している。

以上の考察から，王会琴 (2009) で考察された“NP + 了”に現れる NP の特徴は次のようにまとめられる：

- (i) 春天 / 夏天…，星期一 / 星期二などの時間 NP は我々の知識や経験から順序を持つことを理解しており，それを「時間 NP + “了”」で時間推移を言語化する。
- (ii) 小学生 / 中学生 / …大学生などの段階を表す NP は我々の知識として，推移性を持つと理解できる。したがって，(10) の“(都) 大学生了”はたとえば，“高中生 → 大学生”の推移であると理解できる。
- (iii) “邻居”「お隣さん」，“夫妻”などの関係は我々の経験や知識として変化することを理解している。したがって，(13) の(已经) 邻居了は主語の“你们”「あなた方」が「“邻居” → “邻居”」のように推移することを言語化している。
- (iv) “北京”，“上海”などの場所名詞は，移動を読み取ることができれば，空間推移に理解できる。(15) の“快北京了”は，“天津”から“北京”への移動であると理解できるので，“了”を付加して，空間推移を言語化している。

## 3. VP + 了。

“VP + 了”で，モノや人の状態変化を表すことができる。このモノや人の状態変化を表す“VP + 了”に現れることができる動詞には次のようなものがある：

(17) “死”「死ぬ」，“塌”「崩れる」，“垮”「崩れる」，“炸”「割れる，(火薬で) 爆発する」，“断”「切れる」，“熄”「火が消える」，“倒”「倒れる」，“摔”「つまづく (いて転ぶ)」…<sup>9)</sup>

たとえば，(17) の動詞が現れる“VP + 了”には，次のようなものがある：

- (18) 他父亲死了。「彼の父親は亡くなった」  
 (19) 房子塌了。「家が倒れた」  
 (20) 吴，楚两国是带头叛乱的，两国一败，其余五个国家也很快地垮了。「呉，楚两国は率先して反乱を起こし，いずれも大敗し，残りの五国もすぐに倒れた」  
 (21) 这瓶子一灌开水就炸了。「この瓶は熱湯を入れた途端に割れてしまった」  
 (22) 绳子断了。「ひもが切れた」  
 (23) 火势已熄了。「火が消えた」  
 (24) “四人帮”倒[了]之后，高大头和朱雪桥迭次向房产管理处和财政局写报告，请求解决他们的住房困难。「四人組が倒れた後，高大頭と朱雪橋はしばしば不動産管理所と財政局にしばしば報告を書き…」(汪曾祺・皮凤三榷房子)  
 (25) 中国体操女队又摔了!「中国女子体操チームはまた転んだ」

(18) ~ (24) の例は主語である人やモノの状態が変化したことを表している。たとえば，(18) では“他父亲”が“死↯の状態から”から“死”という状態へ推移したことを“了”を付加して言語化する。

(18)' 他父亲死了

死↯ | 死

他父亲 →

推移 (変化)

(26) (18) ~ (25)

状態1↯ | 状態1

主語の人やモノ →

推移 (変化)

(18) ~ (25) は (26) に示すように，主語である人やモノが状態1↯から状態1へ推移することで，状態が変化したと理解でき，“了”を付加してその推移が言語化されている。<sup>10)</sup>

#### 4. AP +了.

モノや人の状態変化を表す形容詞には次のような物がある。<sup>11)</sup> :

(27) 単方向的形容詞：“熟”「(植物の実が) 熟する」，“老”「年を取っている」，“高”「(高さ) が高い」

(28) 双方向的形容詞：“胖”「太っている」“瘦”「やせている」，“冷”「寒い」，“热”「暑い/熱い」，“快”「速い」，“慢”「おそい」，“长”「長い」，“短”「短い」

次節で単方向的形容詞と双方向的形容詞について各々みていくことにする。

##### 4.1. 単方向的形容詞+了

単方向的形容詞とは単方向的な変化を表す形容詞のことで，一度変化が実現すると元の状態に変化できないものである。たとえば：

(29)\* 园子里的苹果生了。「??庭園のリンゴは熟さなくなった」<sup>12)</sup>

(30) 园子里的苹果熟了。「庭園のリンゴは熟した」

(31)\* 赵明小了。「\*趙明は年齢が若く(小さく)なった」

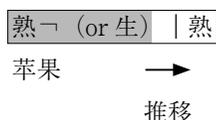
(32) 赵明老了。「趙明は老けた」

(33)\* 他孙子的个子矮了。「彼の孫の背丈は低くなった」

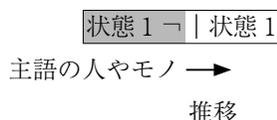
(34) 他孙子的个子高了。「彼の孫の背丈は高くなった」  
などがある。

石毓智(2010)によれば,たとえば,“苹果”「リンゴ」は“生”「熟していない」から“熟”「熟する」に自然に変化すると考えられるが,“熟”から“生”の変化が生じるとは考えられないために,(30)は適格であるが,(29)は非文になる。“赵明(人名)”は“小”「(年齢が)幼い」から“老”「老けている」状態に変化することは自然なことなのであるが,“老”から“小”に変化することは不自然なため,(32)は適格であるが,(31)は非文である。“他孙子”「彼の孫」という,いわゆる人間の背丈は“矮”「背が低い」の状態から“高”「背が高い」の状態へ自然に変化するが,“高”の状態から“矮”の状態に変化するのは不自然なために,(34)は適格であるが,(33)は非文である。つまり“生→熟”,“小→老”,“矮→高”の変化のみ適格であると判断され,“熟→生”,<sup>13)</sup>“老→小”,“高→矮”<sup>14)</sup>の変化は生じないので,不適格であると判断されるのである。<sup>15)</sup>

(30)' 苹果熟了



(36) (30) (32) (34)



## 4.2. 双方向的形容詞+了

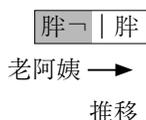
双方向的形容詞とは双方向的な変化を表す形容詞のことで,循環可能な変化を表すことができるものである。たとえば:

- (37) 吴楚看看,老阿姨真的胖了。「呉楚ちょっと見て。おばさんは本当に太ったわよ」  
 (38) 出差一趟返回广州,他精神也疲惫了,人也瘦了。「出張して広州に戻ると,彼はくたくたに疲れ,やせた」  
 (39) 天冷了。街两旁的法国梧桐叶子差不多全掉光了。「寒くなった。通りの両側のフランスアオギリの葉は殆ど全て落ちてしまった」  
 (40) 尽管只是初夏,天气已经很热了。「初夏にすぎないけれども,気候は既にとても暑くなった」

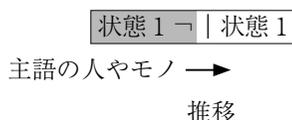
石毓智(2010:233)で指摘されているように,人は太ったり,やせたりするものであるために,(37),(38)は適格であり,気候も暑くなったり,寒くなったりするので,(39),(40)も適格である。つまり人の“胖「太っている」←→瘦「痩せている」,気候の“冷「寒い」←→热「熱い・暑い」”の双方向の変化は自然に生じるものであるので,適格であると判断される。

たとえば(37)の“老阿姨胖了”は(37)'のように図示できる:

(37)' 老阿姨胖了



(41) (37) ~ (40)



(41) は双方向的形容詞+了が表す推移を図示したものである。

以上，“NP+了”，“VP+了”，“AP+了”を考察した。“NP+了”に現れるNPは、順序を持つモノ、即ち、推移性を持つモノである。関係を表すNPや場所を表すNPは我々の経験や知識から変化、移動を表すと解釈できるNPである。“VP+了”に現れる動詞，“AP+了”に現れる形容詞は状態1→から状態1への推移を概念として持つものであり，“了”を付加して、状態推移（変化）の実現済みを表している。

## 5. VR 構文

VR 構文は、典型的には、人の動作行為が人またはモノの状態変化を引き起こすことを表す。

(42) 武松打死了老虎。「武松が虎を殴り殺す」。

(43) 他喝醉了。「彼は（お酒を）飲んで酔った」

(42) は上位事象の“武松打老虎”が下位事象の“老虎死”を引き起こす使役の意味に解釈される VR 他動詞構文である。

(43) は上位事象“他喝（酒）”が下位事象の“他醉”を引き起こすという意味に解釈され、主語“他”の状態変化を表す VR 自動詞文である。

また、その他にRがVの完了アスペクトを表すものもある：

(44) 你看完这本杂志了吗？「君はこの雑誌を読み終えましたか」

(42) と (44) はいずれも VR 他動詞構文であるが、(42) は目的語 NP の状態変化を表しているのに対し、(44) では目的語 NP の状態変化を表してはいない。

このことから、VR 構文も状態1→から状態1へ推移するという概念構造を持つのみで、VR 他動詞構文が目的語の状態変化を引き起こすと解釈されるのかどうかは、VR 構文自体が表現しているものではなく、VやR自体が表す意味、VR 構文に現れる主語や目的語のNPなども関係していること、即ち、中国語母語話者がどのように捉えているのかによって決まることを考察する。

### 5.1. VR 自動詞文 (I)

VR 構文の主語に現れる NP の状態変化を表す例について考察する。たとえば：

(45) 马恩华又病倒了。「馬恩華がまた病気で倒れた」

(46) 她微微叹气说：“累了，累了，孩子们都跑累了。”「彼女はかすかにため息をついて言った：『疲れた，疲れた，子供たちは皆（走り）疲れた』」

(47) 旧病犯了，就服药抵挡一阵；眼睛看累了，就摘下老花镜稍事放松又重新开始工作。「持病が再発したので、すぐに薬を服用してひとしきり食い止めた；目が疲れたので、老眼鏡を外して少し楽にし、また改めて仕事に入った」

(45) ~ (47) の VR は次のような概念合成である：

(45)' : [ “病” 「病気である」 (非対格動詞) + “倒” 「倒れる」 (非対格動詞) ] 了

(46)' : [ “跑” 「走る」 (非能格動詞) + “累” 「疲れている」 (非対格動詞) ] 了

(47)' : [ “看” 「見る」 (他動詞) + “累” 「疲れている」 (非対格動詞) ] 了

(45)～(47)は状態1→+状態1の概念構造を拡張したものであり、状態1→に“病”、“跑”、“看”を外動的働きかけとして導入し、VとRを隣接させて、全体として、「変化」の意味を叙述しているのである。

VR自動詞構文は、(45)～(47)の組み合わせの他に、Rが単独では非能格動詞のものもある：

(48) 小美累哭了。「小美は疲れて泣いた」<sup>16)</sup>

(48)の後項動詞“哭”「泣く」は単独では状態変化を表す動詞ではないものの、「疲れて泣く」ということは現実には、十分あり得ることであり、“累”と並べて、“累哭”了とすることで「(へとへとに)疲れて泣いた」に解釈され、それは主語である“小美”の状態変化を表していると理解されるのである。

## 5.2. VR自動詞文(Ⅱ)

VR自動詞文にはもう一つのタイプがある。それはVR他動詞文の主語(使役主)を背景化させて、自動詞文にするというものである：

(49) 她哭湿了手帕。「彼女はハンカチを泣き濡らした」

(50) 手帕哭湿了。「ハンカチが涙で濡れた(直訳：泣き濡れた)」

(51) 武松打死了老虎。「武松は虎を殴り殺した」(= (41))

(52) 老虎打死了。「虎が殴り殺された」

(50)では“手帕”「ハンカチ」が“哭湿”「泣き濡れる」の変化主体に解釈され、“手帕”を濡らした“哭湿”の主語(使役主)が背景化され、統語構造で抑制されて、変化対象を際立たせている。<sup>17)</sup>これは通常我々が涙をハンカチで拭えば、濡れることを知識や経験として知っているために、問題なく成立するのである。

## 5.3. VR他動詞文(Ⅰ)

VRが“打死”、“哭湿”の他動詞文の例である：

(53) 为此他们先已经打死了我哥哥。「このために、彼らは先ず既に私の兄を殴り殺した」

(54) 他向我表示说：我是中国人，我爸还在广东，我的心还在中国，我一定要回中国。谈话中他哭湿了我的两条手绢。「彼は私に次のように述べた：私は中国人です。父はまだ広東にいますので、私の心はまだ中国にあります。必ず中国に帰ります。話の最中に彼は私の二枚のハンカチを泣き濡らした」

(53)と(54)の概念合成は次のようになる：

(53)' : [ “打” (他動詞) + “死” (非対格動詞) ]

(54)' : [ “哭” (非能格動詞) + “湿” (非対格動詞) ]

(53)と(54)は状態1→+状態1の概念構造の、状態1→に外的働きかけとして“打”、“哭”を導入し、VとRを隣接させて、全体として、「変化」の意味を叙述し、主語はこの「変化」の意味を引き起こす主体(使役主)に、目的語はこの「変化」を被る被使役主に解釈され、

目的語の状態変化を表していると解釈される。

#### 5.4. VR 他動詞文 (Ⅱ)

たとえば、“冻病”や“累坏”などのVRは自動詞文にも他動詞文にも用いることが可能である：

- (55) 你冻病了，奶奶会骂我。「お前が凍えて病気になったら，おばあちゃんは私を罵るよ」
- (56) 渡河冻病了几十个人，家里没有主事的人不行。「川渡りで数十人が凍えて。病気になりました。家に責任者がいないならだめです」
- (57) 回到家时他已经累坏了，就坐在椅子上睡着了，一觉醒来已经是大天亮了。「帰宅した時に彼は既にへとへとに疲れており，椅子に腰を下ろしたまま寝入ってしまい，目醒めると空はもうすっかり明るくなっていた」
- (58) 已经太晚了。那丫头把我累坏了。「もう遅すぎた。あの女の子のおかげで私はへとへとに疲れた」
- (59) 大姐姐，你累坏我了！「おねえさん，あなたのおかげで私はへとへとに疲れたよ」

(55) ~ (59) の概念合成は次のようになる：

(55)' / (56)' : [“冻”「凍える」(非対格動詞) + “病”「病気である」(非対格動詞)] (了)

(57)' / (58)' / (59)' : [“累”「疲れる」(形容詞) + “坏”「悪い」(形容詞)] (了)

(55), (56) は状態1 → + 状態1 の概念構造の状態1 → に“冻”「凍える」，“累”「疲れる」を導入し，外的働きかけとして，Rと隣接させて，全体として「変化」の意味を叙述し，(55) は主語の状態変化を表す。(56) では“渡河”「河を渡る」という事象が原因主(使役主)となり，(58), (59) では“那丫头”「あの女の子」や“你”「あなた」が使役主(原因主)となり，VR構文が使役の意味を獲得していると考えられる。

このほかに，同じVR他動詞文でも，VRの種類により，主語NPの状態変化を表すと解釈されたり，目的語NPの状態変化に解釈されたりと，解釈が揺れるものが存在する。

#### 5.5. VR 他動詞文 (Ⅲ) — 解釈が分かれるタイプ

##### 5.5.1. “追累”「追いかける+疲れる」

同じVR他動詞文でも，状態変化を被る被使役主が主語に解釈されたり，目的語に解釈されたりと，解釈が分かれるものが存在している(沈家煊 2004)：

(60) 张三追累了李四了。

- (a) 「张三が李四を追いかけて，李四が疲れた」(使役義)
- (b) 「张三が李四を追いかけて，张三が疲れた」(非使役義)
- (c) 「李四が张三を追いかけて，张三が疲れた」(解釈不可能)
- (d) 「李四が张三を追いかけて，李四が疲れた」(使役義) 18)

このように (a) (b) (d) の三つに解釈が分かれることから，英語と同じように，VR他動詞文自体が使役義を持つ構文である，という主張は成立しない。ではなぜ (a) (b) (d)



### 5.5.3. “打哭”「殴る+泣く」

(64) 张三打哭了李四了。<sup>20)</sup>

- (a) 「張三が李四を殴って、李四が泣いた」(使役義)
- (b) 「張三が李四を殴って、張三が泣いた」(解釈不可能)
- (c) 「李四が張三を殴って、李四が泣いた」(解釈不可能)
- (d) 「李四が張三を殴って、張三が泣いた」(解釈不可能)

(64) では、我々の知識や経験において、「殴る人」より、「殴られる人」の方が通常は「泣く」と考えられるため、(a) のみが成立するのである。

以上の考察から VR 他動詞文が使役義を持つのか、それとも非使役義を持つのかは V や R の意味、主語や目的語の NP などの意味も考慮しなければならず、中国語話者の捉え方 (ICM) によって、決まるということである。したがって、VR 他動詞文全体は構文として使役義を反映する必要条件ではあるが、十分条件ではないということが明らかである。

## 6. まとめ

本稿では“NP +了”，“VP +了”，“AP +了”，VR 自動詞文，VR 他動詞文の五つのタイプについて考察した。それをまとめると：

- (i) NP +了に現れる NP は順序義を持つ時間 NP や段階を持つ NP であるそれは必然的に推移性を持つ (王会琴 2009)。VP +了に現れて、主語の状態変化を表す動詞も、AP +了に現れて、主語の状態変化を表す形容詞も主語が状態 1 ーから状態 1 へ推移 (変化) することを表す概念構造を持つ (石毓智 2010)。
- (ii) VR 自動詞文は状態 1 ーから状態 1 への推移を表す概念構造を拡張し、状態 1 ーに動詞または形容詞を外的働きかけとして導入し、V と R を隣接させて、主語の状態変化を表す (井上 2002, 2004)。<sup>21)</sup>
- (iii) VR 他動詞文も VR 自動詞文と同様の概念構造を持つが、それが表す「変化」を被るのが主語なのか (非使役義) それとも目的語なのか (使役義) は V や R の意味や主語や目的語 NP が何かなどを検討しなければならない。したがって、VR 他動詞構文は使役義を記号化する必要条件であっても、十分条件ではない。

謝辞 本稿の例文は王其莉氏 (西南学院大学言語教育センター所属) にチェックしていただいた。ここに記して感謝の意を表したい。

## 〈注〉

- 1) 王会琴 (2009) p102 からの用例。
- 2) 邢福义 1984, 马庆株 1997 を参照。
- 3) 時間推移を表す図は井上 (2004, 2012) を参照。
- 4) 王会琴 (2009) p102 からの用例。
- 5) 王会琴 (2009) p102 からの用例。
- 6) 王会琴 (2009) p103 からの用例。
- 7) 王会琴 (2009) p103 からの用例。
- 8) 马庆株 (1997) からの用例。
- 9) 石毓智 2010 : 230 を参照。
- 10) ここで注意すべきことは、“死”は(18)’のような概念構造を持つけれども、“了”を付加しなければ、“死→”から“死”への推移(状態変化)が実現済みであることを表せないということである。沈家煊(2007, 2009, 2012)では、中国語の動詞は、英語の-ing や to 不定詞、または日本語の「～すること」のような動詞を名詞化するものがなく、形を変えずにそのまま主語や目的語になれることから、中国語の動詞は基本的に名詞の下位類であることを指摘している：  
(a) He flies a plane. (他开飞机) / (b) To fly a plane is easy. (开飞机容易) / (c) Flying a plane is easy ((开飞机容易)
- 11) 石毓智 2010 : 232 - 233 を参照。
- 12) (29) ~ (34) は石毓智 (2010 : 232) より引用。
- 13) 在我们老家，过年吃饺子还有个习俗，当饺子煮熟的时候，煮饺子的人会对其他人喊。这个喊是很有讲究的，平时会说“吃饺子啦”或“饺子熟啦”。可是，年三十这顿饺子，一定不能说“饺子熟了”，必须说“饺子‘生’了”。为什么要这么说呢？“生”和“升”是谐音，意味着新的一年升官发财，生活蒸蒸日上。至今，每年的年夜饭，煮饺子的时候，妈妈都会说：“饺子生了。” <http://tieba.baidu.com/p/344159309> からの用例。北方の習慣で“饺子生了”だけは可能なようである。
- 14) 你每天都沐浴着阳光，同时也承受风雪飞沙的袭击。土丘矮了没人添高，青草枯了却能萌发新的生命。(人民日报1996年4月份)。人間の場合には、“高”から“矮”への変化は考えにくいだが、“土丘”「つか、古墳」などの場合は、自然にまたは何らかの原因で低くなることはあり得ると考えられる。つまり、単に形容詞の意味だけではなく、その主語名詞(句)も考慮しなければならないことを示唆している。
- 15) 同様のことは木村(1997)、井上(2004, 2012)でも指摘されている。
- 16) 王怡人(2005)からの引用例
- 17) 影山1996 : 184 ; 申亜敏・望月圭子2009ではこれを「脱使役化」という。
- 18) 解釈にも個人差があり、王其莉氏(西南学院大学言語教育センター所属)によ

れば, (d) の解釈はできないという指摘を受けた。

19) 沈家煊 2004: 10 からの用例。

20) 沈家煊 2004: 10 からの用例。

21) 井上優 (2004,2012) は形容詞+了/動詞+了が表す変化を自律的変化「自然に変化した」、VR 自動詞文が表す変化を非自律的変化「外的働きかけによる変化」という違いがあると述べている。

### 参考文献

- 秋山淳 (1998) 「語彙概念構造と動補複合動詞」『中国語学』 245: 32 - 41. 日本中国学会
- 秋山淳 (2010) 「動詞+結果補語の使役義獲得について」『九州中国学会報』 48:122 - 135. 九州中国学会
- Chu Chuancey C. (1976) Some Semantic Aspects of Action Verbs. *Lingua*40:43-54
- 井上優 (2004) 「日本語と中国語の変化の表現」『次世代の言語研究Ⅲ』筑波大学現代言語研究会
- 井上優 (2012) 「テンスの有無と事象の叙述形式」『日中理論言語学の新展望②意味と構文』 1-26. くろしお出版
- 石村広 (2000) 「中国語結果構文の意味構造とヴォイス」『中国語学』 247: 142-157. 日本中国語学会
- 石村広 (2008) 『中国語の結果構文に関する研究 - VR 構文の意味構造とヴォイス -』東北大学大学院文学研究科言語科学専攻 (博士論文)
- 影山太郎 (1996) 『動詞意味論』東京: くろしお出版
- 河上誓作編 (1996) 『認知言語学の基礎』研究社出版
- 木村英樹 (2012) 『中国語文法の意味とかたち - 「虚」的意味の形態化と構造化に関する研究』白帝社
- Lakoff George and Johnson Mark (1980) *Metaphors We Live By*. The University of Chicago Press
- 刘月华・潘文娉・故华 (2010) 『实用现代汉语语法』商务印书馆
- 马庆株 (1997) 「顺序义对体词语法功能的影响」『中国语文』 vol.5
- 村尾治彦 (2006) 「結果構文における認知領域と拡張の方向性」山梨正明他編『認知言語学論考』 6: 199-240. ひつじ書房
- 沈家煊 (2004) 「动结式追累的语法和语义」『语言科学』 vol.6: 3-15.
- 沈家煊 (2007) 「汉语里的名词和动词」『汉藏语学报』 vol.1: 27-47.
- 沈家煊 (2009) 「我看汉语的词类」『语言科学』 vol.8: 1-12
- 沈家煊 (2012) 「怎样对比才有说服力 - 以英汉名动对比为例」『现代外语』 vol.1
- 申亜敏・望月圭子 (2009) 「中国語の結果複合動詞 - 日本語の結果複合動詞・英語の結果構文との比較から -」『結果構文のタイポロジー』東京: ひつじ書房
- 施春宏 (2008) 「动结式“V 累”的句法语义分析及其理论蕴涵」『语言科学』 vol.3:242-258
- 石毓智 (2010) 『汉语语法』商务印书馆

- 鈴木武生 (2004) 「中国語の結果構文の派生とアスペクト特性」『日本語学会第 129 回予稿集』  
309-314. 日本語学会
- Tai James H-Y. (1997) Category Shifts and Word-Formation Redundancy Rules in Chinese 『中  
國境内語言暨語言學』 3:435 - 468.Academia Sinica.
- Tai James H-Y (1985) Temporal Sequence and Word Order in Chinese Iconicity in Syntax.  
John Haiman (eds.) Amsterdam/Philadelphia:John Benjamins Publishing Company
- Tai James H-Y (2003) Cognitive Relativism : Resultative Construction in Chinese. Language  
and Linguistics4.2 : 301-316
- 辻幸夫他編 (2002) 『認知言語学キーワード事典』 研究社
- 王会琴 (2009) 「“NP + 了” 结构语义分析」『平顶山学院学报』 vol.6 : 101-104
- 邢福义 (1984) 「说“NP 了” 句式」『中国语文』 vol.3 : 21-26